



「バーンスタインと  
赤狩り」

ふくなかふゆこ  
福中冬子

近現代音楽創作を中心に研究。ニューヨーク大学大学院修了。『ニューミュージコロジー：音楽作品を「読む」批評理論』（編訳）、『Vocal Music and Contemporary Identities』（共著）など。

◀バーンスタイン指揮、プレヒト作『三文オペラ（ワイル作曲、ブリッツスタイン翻案）の稽古風景。歌っているのはロッテ・レーニャ（1952年）。

芸術と憲法を考える連続講座 vol.22

# 研究の現場から

-藝大教員とともに「芸術」と「社会」の関係を考える-

表現の自由と芸術の自律が担保されている（はず）の戦後西側諸国において、芸術と社会はどのような関係にあるのでしょうか？

本講座では毛利嘉孝（国際芸術創造研究科）と福中冬子（音楽研究科音楽学）の二人が、それぞれの専門領域（社会学・文化批評、近現代音楽史研究）における事例を通じて、西側社会における芸術のアクチュアリティーを考えます。

「資本主義の『終焉』と新たなコミュニズム／社会主義の時代？—新しい文化芸術の実践とコービン、サンダース、あるいは『れいわ新選組』の時代？？」

もうりよしたか  
毛利嘉孝

社会学者。音楽や美術などの現代文化やメディア・社会運動を中心として、研究・批評・実践活動を行う。主著に『ストリートの思想』（NHK出版）、主編著に『アフターミュージッキング』（東京大学出版会）。



メガン・ウィルソン作壁画 ▶  
《CAPITALISM IS OVER! IF YOU WANT IT》  
サンフランシスコ、クラリオン通り（2011年）



日時: 2019年11月7日（木）18:30-21:00（開場 18:00）

会場: 東京藝術大学 上野キャンパス 音楽学部 5-109 教室

※入場無料、申込不要。藝大生と一般市民のための講座です。

お問い合わせ: kenpou.geidai@gmail.com（川嶋）

主催: 東京藝術大学音楽学部 楽理科／後援: 日本ペンクラブ  
共催: 自由と平和のための東京藝術大学有志の会

